

# 大津町立美咲野小学校照明設備改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E－ 1	電気設備工事特記仕様書(その1)	
E－ 2	電気設備工事特記仕様書(その2)	
E－ 3	配置図・附近見取図	1／750
E－ 4	照明器具姿図	
E－ 5	非常用照明・誘導灯設備 改修平面図	1／100
E－ 6	1階照明設備 改修平面図	1／200
E－ 7	2階照明設備 改修平面図	1／200
E－ 8	渡り廊下照明設備 改修平面図	1／200
E－ 9	照明器具 撤去姿図	
E－ 10	非常用照明・誘導灯設備 撤去平面図	1／200
E－ 11	1階照明設備 撤去平面図	1／200
E－ 12	2階照明設備 撤去平面図	1／200
E－ 13	渡り廊下照明設備 撤去平面図	1／100



項目

特記事項

○ 1

機器等の配置

○ 2

機材等の検査及び試験

○ 3

関連法規等

○ 4

容量などの表示

○ 5

耐震施工

設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする。

検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による。

電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者（NTT等）の内規を厳守して完全に施工すること。

(1) 機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は原則として表示された数値以上とする

(2) 消費電力は原則として表示された数値以下の電力とする

(1) 機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人 建築研究所監修 2014年版）」による

① 設計用水平地震力

機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、下表による。 ※ 地域係数 Z=1.0 としている

局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度 (Ks) ※ 該当する施設に○をつけること

設置場所	耐 震 安 全 の 分 類							
	・ 特定の施設 (耐震クラス)		○ 一般の施設 (耐震クラスA)					
機器類	電気配線 (金属管等)	ケーブルラック	発電設備配管等	機器類	電気配線 (金属管等)	ケーブルラック	発電設備配管等	
上層階、屋上及び塔屋	2. 0	12m以内ごとにSA種耐震支持	6m以内ごとにSA種耐震支持	SA種耐震支持	1. 5	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種又はB種耐震支持	A種耐震支持
中間階	1. 5	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種耐震支持	SA種耐震支持	1. 0	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	8m以内ごとにA種又はB種耐震支持	A種耐震支持
1階及び地下階	1. 0	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種耐震支持	A種耐震支持	0. 6	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	A種又はB種耐震支持

※ 上層階の定義は次に示す

建物階数	上層階	建物階数	上層階
2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階
7～9階建	上層2階	13階建	上層4階

② 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする

③ 軽量機器等の耐震施工

重量1kN以下の軽量な機器の耐震支持については、本指針に準拠あるいは同等な設計用地震力に耐える方法で設計・施工されることを推奨する。ただし、耐震支持の詳細は、軽量であることを考慮し、支持される上面スラブ、壁、床など）が地震によって生じる力に十分耐えるように検討されている必要がある

(2) 建物への配線引込部について地盤変位の想定沈下量は、  
（ ・ 0.2m以下 ・ 0.6m以下 ・ 1.0m以下 ）とする

6 配管工事

(1) 特に指示なき電線管はねじなし電線管を使用し、PF管は一重管とすること。  
(2) 一区間の恒長が30mを超える場合及び施工に必要な場合は、特に図示してなくとも中継ボックスを設けること  
(3) 予備配管には、1. 6m/m以上のビニール被覆鉄線管を入線すること

7 構内及び構外舗装

構内では、路盤材料は再生クラッシュランを用い、アスファルト舗装は再生密粒度アスファルト混合物を利用すること

構外では、  
・ 表層路盤（ ※ 再生アスファルト ・ 新70%再30% ・ 再100% ）  
・ 基層路盤（ ※ 再生アスファルト ・ 新70%再30% ・ 再100% ）  
・ 上層路盤（ ※ 再生粒調砕石 ・ 再生クラッシュラン ）  
・ 下層路盤（ ・ 再生粒調砕石 ※ 再生クラッシュラン ）を利用すること

8 標識シート等

全ての地中埋設配管には GL-300 の位置に標識シート等を2倍長以上重ね合わせて敷設し、高圧ケーブル、低圧ケーブル及び弱電ケーブル等には、種別及び先行を表示すること

9 屋外の支持金物等

(1) 屋外の支持金物、ボルト及びナット類は、溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZ35以上）又はステンレス製とする  
(2) ナットの固定には、ダブルナット又は抜け止め対策を行う

10 配管塗装

(1) 指定箇所の露出配管、露出ボックス類の塗装は、素地ごしらえのうえ、監督員の指定する色にて、OP2回塗りとする  
(2) 指定場所の露出ブルボックスは指定色焼付塗装とする  
(3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること  
(4) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛めっき仕上げではJIS H 8641で規定するHDZ35以上とすること  
(5) 仮仲買通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと

11 配分電盤及び操作盤

(1) 配分電盤及び操作盤（以下、盤という）は、監督員の指定する色（既製品を除く）にて焼付け塗装すること  
(2) 電灯分電盤については中枠及び開戸式内扉を設けるものとし、盤内配線の主幹と分岐開閉器間は銅帯とすること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない  
(3) 盤には、二重天井の場合、監督員の指示する大きさの予備配管を2本以上天井内より立上げ、エンドカバー又はブッシングを設けること  
(4) 銘板には製造者及び請負者の連絡先を入れること  
(5) 積算電力量計について、特記なき場合は検定付とすること  
(6) ドア裏面の充電部が露出する部分は原則感電防止の処置を施すこと  
(7) 屋内設置の外面膜厚は、（ ・ 30 μm以上 ・ 40 μm以上 ・ 90 μm以上 ）とする  
屋外設置の外面膜厚は、（ ・ 60 μm以上 ・ 90 μm以上 ・ 120 μm以上 ）とする

12 端子盤及び保安器箱

塗装及び予備配管は、「特記事項11の配分電盤及び操作盤」と同様とする

13 ボックス等

位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、金属製とする

14 配線器具等

(1) フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする  
(2) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付きとする  
(3) 特記無きスイッチはワイドハンドルスイッチとする

15 幹線ケーブル

主要な幹線ケーブルは、ブルボックス、ハンドホール等内で、円直し等により余長を確保すること  
なお、この際はケーブルを緊縛してはならない

16 表示等

(1) プレーートの表示  
器具を実装しないものについては、下記の要領で用途を明示すること  
（ 電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ベル、インター、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等 ）  
(2) 幹線の表示  
強電、弱電の幹線引出口、引込口、ブルボックス内及びハンドホール内の必要な箇所には、先行、回路種別及びケーブルサイズ等を明示した表示札、プレート等を設けること  
(3) ブルボックス及びハンドホールの表示  
ブルボックスの蓋面に用途表示を行うこと  
ハンドホールの蓋には熊本県章を表示し、用途別に「高圧」「電気」「弱電」「電話」等と表示すること。

17

接地工事

(1) 接地埋設標は黄銅板製の刻記式とし、A種接地工事（柱上高圧機器を除く）、受電設備等のB種接地工事、その他図面に特記する接地工事に設けること

(2) 接地極の材料は、下表による。（枚数及び本数は最低の値とする。）

接 地 極 の 種 類		記 号	接 地 極 の 材 料	
			銅板	接地棒
電 力	共同	E <sub>A, B, D</sub>	1枚	2本
	A種接地工事	E <sub>A</sub>		6本
	柱上高圧機器	E <sub>B</sub>		2本
	B種接地工事	E <sub>B</sub>		2本
	C種接地工事	E <sub>C</sub>		6本
	D種接地工事	E <sub>D</sub>		1本
通 信	構内交換機 陽極	E <sub>t</sub>	1枚	2本
	〃 本配線盤の保安装置	E <sub>tp</sub>	1枚	2本
	保安用（ 10Ω以下）	E <sub>At</sub>		6本
	保安用（100Ω以下）	E <sub>It</sub>		1本
	拡声用増幅器(100Ω以下)	E <sub>Dt</sub>		1本
雷 保 護	避雷設備	E <sub>L</sub>	1枚	2本
	低圧避雷器（ 10Ω以下）	E <sub>LL</sub>		6本
他	測定補助用	E <sub>O</sub>		1本

接地極銅板： 1. 5t×900°  
接地棒： 14 φ×1,500L（一般用）  
10 φ×1,000L（外灯）  
10 φ×1,000L（測定補助用） 2ヶ所

○ 18

照明器具の接地

LED照明器具の金属製部分には、D種接地工事を施すこと  
ただし、二重絶縁構造のもの、使用電圧が直流300V以下又は対地電圧が交流150V以下のLED照明器具を乾燥した場所に施設する場合は、接地工事を省略することができる  
接地線は原則として緑色の IE 1. 6mm 以上とし金属配管の場合は配管を利用してよい

19

避雷器

・ 低圧用SPDの性能は （ ・ クラスⅠ（性能は図示による） ・ クラスⅡ ）とする

・ 通信用SPDの性能は （ ・ C2 ・ D1（性能は図示による） ・ 図示による ）とする

○ 20

LED制御装置

図面に特記なき場合は、一般形（LN）、初期開度補正形（LJ）、連続調光形（LX）とすること

21

外灯設備

(1) 図面に特記なき場合は、鋼管ポールは、溶融亜鉛メッキを施し、素地ごしらえの後、指定色2回塗りとすること

(2) ポール内等に配線用遮断器（引外し装置無）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を設けること

○ 22

照度測定

測定箇所 ・ 学校環境衛生基準による。 ・ 監督員の指示による。

23

キュービクル型受変電設備

(1) 変圧器の2次側には最大需要電流計（電子式）を設けること

(2) 変圧器の2次側と配線用遮断器の1次側間には銅帯とすること

(3) 幹線と配線用遮断器を接続するための端子台を設けること

(4) 充電部の保護用として、取っ手を付けたアクリルパネルを隙間なく設けること

(5) 充電器は原則として、熊本県グリーン購入推進方針適合品とする

(6) 高圧充電部の近くには高圧危険表示とすること

(7) 変圧器の仕様は （ ・ 標準仕様 ・ 標準準仕様 ）とする

(8) 変圧器は防振ゴム付きとする

(9) 屋内設置の外面膜厚は、（ ・ 30 μm以上 ・ 40 μm以上 ・ 90 μm以上 ）とする  
屋外設置の外面膜厚は、（ ・ 60 μm以上 ・ 90 μm以上 ・ 120 μm以上 ）とする

(10) 変圧器の温度管理は、（・ダイヤル温度計 ・不可逆性の感熱表示パネル等）とする

24

発電設備

潤滑油系統のプライミング方法は、（・定期的プライミング ・始動時プライミング）とする

25

通信・情報設備

ケーブルは監督員の指定する色を用い、露出部分（端未接続部分を除く）を保護すること

UTPケーブルを除き、配線完了後、絶縁抵抗試験を行うこと

UTPケーブルは、配線完了後、フロア配線盤から通信アウトレットの区間で、伝送品質測定を行うこと

光ファイバケーブルは、配線完了後、伝送損失測定を行い、システムを構成する機器の許容伝送損失値以下であること

26

インターホン設備

卓上型機器への接続は、原則としてコネクターによる。

また、ケーブルはインターホン用絶縁耐燃性ポリエチレンスケールを用いること

27

音響設備

音響装置は動作試験の他に次の測定を行うこと

・ インピーダンス ・ 残響時間 ・ 伝送周波数特性 ・ 音圧分布

28

テレビ共同受信設備

(1) アンテナは、素子数 20以上とする。

(2) 受信調査は、地上波放送局分とし、監督員に報告すること

29

電気時計設備

子時計の配線接続には2極コネクターを用いること

30

消火ポンプ起動

特記なき場合は、発信機連動方式とする。

その場合、発信機表面に「消火栓連動」等の文字を併記すること

31

壁貫通

構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探索を行う。

・ レントゲン撮影 ・ 金属探知機

○ 32

あと施工アンカー

○あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること

○施工者資格 （ ○ 第1種あと施工アンカー施工士 ・ 第2種あと施工アンカー施工士 ）  
※試験 ※自主検査（全数）  
・加力検査 （ ・ 非破壊試験 〃 所 ・ 破壊試験 〃 所 ）

○ 33

改修工事

改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認・測定等を着工前にを行い、監督員に報告すること

○ 既設機器の動作確認

○ 照度測定 範囲 （ ※居室 ※教室 〇指定する場所 ） （ ）

○ 絶縁測定 （ ・ 幹線 〇分岐回路 ・ 弱電ケーブル ）

・ 接地抵抗測定 ・ 導通試験

○ 34

発生材の処理等

・水銀含有物（蛍光管、水銀ランプ）の処理は次のとおり行うこと。

(1) 破砕施設にて破砕し、破砕したガラス、ガラスに塗布された蛍光塗料、蛍光管等に封入された水銀その他資源化可能なものを分離し、回収することができる設備を有する廃棄物処理業者と契約すること。

(2) 工事請負者は廃棄物処理事業者との処理委託契約書の写しを県に提出すること。

(3) 廃棄物処理業者は回収した資源化可能なものは、可能な限りリサイクルするものとする。

(4) 蛍光管等を破砕する際には、封入されたガス状水銀及び金属水銀が環境中に飛散しないよう、破砕施設に吸引装置を設けガス状水銀等を吸引すること。 また、吸引したガス状水銀等は活性炭等に吸着させ環境中に放出しないようにすること。なお、この方法によらない場合は、この方法と同等または同等以上の方法で処理を行うこと。

(5) 再資源化に関しては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）」及び関係法令を遵守すること。

(6) 廃蛍光管等の保管・収集運搬用容器については、保管及び運搬中に蛍光管が割れガス状水銀等が環境中に飛散しないよう適切なものを使用すること。

・イオン化式感知器は、梱包箱の外部的見えやすい位置に「放射性・I型輸送物相当」と明記し、製造元に連絡の上送付する。

機器の取付高さ					
機器取付高さは下表を原則とする（ただし、総括監督員、主任監督員の指示により変更することがある）					
名 称	測 点	取 付 高	(mm)		
取引用計器	地上	～ 中心	約 1, 800	～	約 2,000
引込開閉器	床 上	～ 中心	約 1, 800	～	約 2,200
分電盤	床 上	～ 中心	約 1, 500	～	約 2,100
ブラケット	洗面器		約 100		
	階段踊場	床 上	～ 中心	約 2, 000	～ 約 2,500
	屋 外	床 上	～ 中心	約 1, 500	
スイッチ	一般	床 上	～ 中心		～ 約 1,100
	住宅	床 上	～ 中心	約 1, 100	
	一般	床 上	～ 中心	約 400	～
コンセント	台上	～ 中心	約 200		
	土間	床 上	～ 中心	約 800	
	壁	床 上	～ 中心	約 400	
		床 上	～ 中心	約 1, 500	
		床 上	～ 中心	約 1, 500	
手元開閉器		床 上	～ 中心	約 2, 000	2,500
壁掛型制御盤		床 上	～ 中心	約 700	～
消火栓表示灯		床 上	～ 中心	約 2, 000	
端子盤		床 上	～ 下端	約 700	～
保安器ボックス		床 上	～ 下端	約 2, 000	
電話位置ボックス壁、テレビ端子		コンセントに準じる			
受信機、副受信機（壁掛型）	床 上	～ 操作部	約 800	～	1,400
分布型感知器	床 上	～ 中心	約 1, 700		
発信機	床 上	～ 操作部	約 800	～	1,400
表示灯	床 上	～ 中心	約 1, 900		
ベル	床 上	～ 中心	約 2, 300		
感知器試験機	床 上	～ 中心	約 1, 500		
呼出ブザー	床 上	～ 中心	約 1, 500		
トイレ呼出ボタン	床 上	～ 中心	約 400	、800	
押ボタン	屋外	床 上	～ 中心	約 1, 500	
	屋内	床 上	～ 中心	約 1, 300	
インターホン（壁掛）		床 上	～ 中心	約 1, 100	
子時計		床 上	～ 中心	約 2, 300	
警報盤		床 上	～ 中心	約 1, 300	
壁掛音響調節器		床 上	～ 中心	約 1, 100	
スピーカー		床 上	～ 中心	約 2, 300	
表示器		床 上	～ 中心	約 2, 300	

工事区分

別表－1の記入上の注意

別表－1

他工事との工事区分表

工 事 内 容

建築工事

電気設備工事

機械設備工事

別途工事

機器の基礎

電気関係

配電盤・制御盤の基礎

屋外

屋上

自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）

テレビアンテナ基礎（" "）

避雷針の基礎（" "）

屋内設備（架台、アンカーボルトを除く）

屋上設備（" "）

屋外設備（" "）

架台、アンカーボルト

特記した基礎

開口部

梁、床、壁、貫通スリーブ

補強を要するもの

補強を要しないもの

梁、床、壁、貫通部型枠

補強を要するもの

補強を要しないもの

軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込

補強を要するもの

補強を要しないもの（アクリットボックスは除く）

塩込形分電盤、端子盤等の型枠

補強を要するもの

補強を要しないもの

上記開口部の補強

上記開口部の墨出し

スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）

フリーアクセスフロア用配線器具

点検口

外部取付ガラリ

湯沸室のフード

換気扇の取付枠

流し台

防油堤

床下水槽のマンホールふた

屋外排水管

雨水立管（たてどい）

トイレ手すり

化粧がみ

はめ込形洗面器用カウンター（前板共）

ガスボンベ転倒防止用の鎖

電気・配管・配線

自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ

防火扉レリーズ

電極棒

配線ビッド及びふた

機器などへの接続（1次側）

機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管（接地共）

機器付属の制御盤への電源供給配管配線

自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線

自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線

天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器

付属操作スイッチとの渡り配管（接地共）

付属操作スイッチとの渡り配線

付属操作スイッチ

付属操作スイッチの埋込ボックス

個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）

煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線

小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線

ガス漏れ検知器

電気配

エレベーター出入口三方枠（金属製）

エレベーター出入口三方枠（石製）

シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン

システム天井

電気配

電気配及び通電金具

TENキー及び制御盤

照明ライン設備プレート

空調ライン設備プレート

別表－1の記入上の注意

別表－1

他工事との工事区分表

工 事 内 容

建築工事

電気設備工事

機械設備工事

別途工事

機器の基礎

電気関係

配電盤・制御盤の基礎

屋外

屋上

自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）

テレビアンテナ基礎（" "）

避雷針の基礎（" "）

屋内設備（架台、アンカーボルトを除く）

屋上設備（" "）

屋外設備（" "）

架台、アンカーボルト

特記した基礎

開口部

梁、床、壁、貫通スリーブ

補強を要するもの

補強を要しないもの

梁、床、壁、貫通部型枠

補強を要するもの

補強を要しないもの

軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込

補強を要するもの

補強を要しないもの（アクリットボックスは除く）

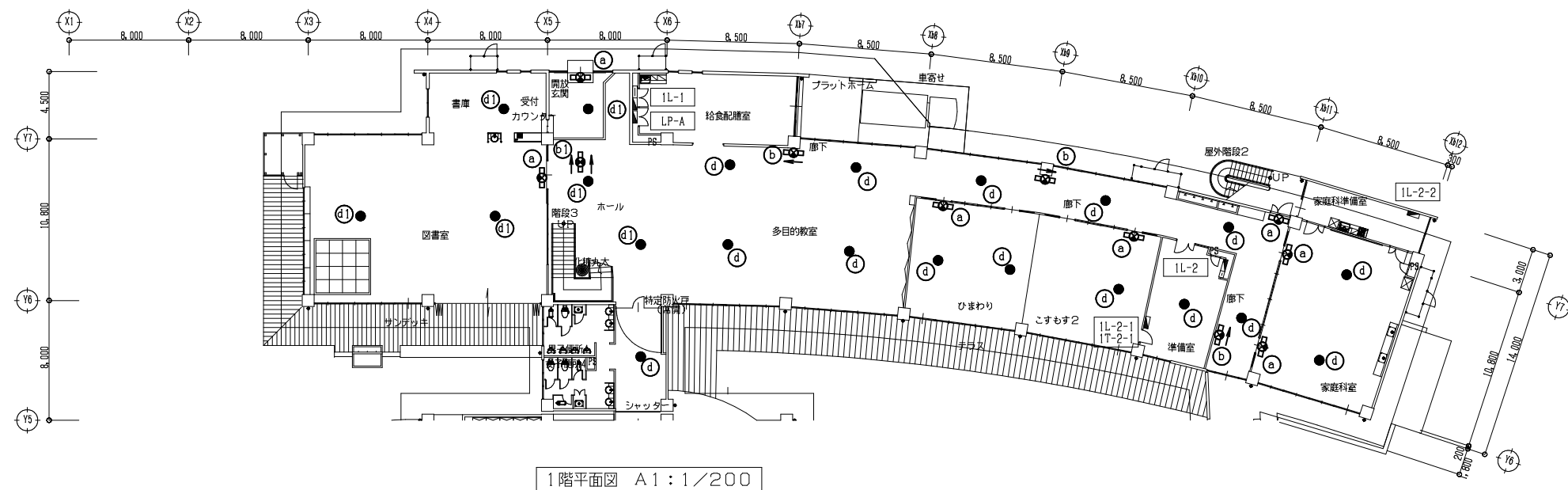
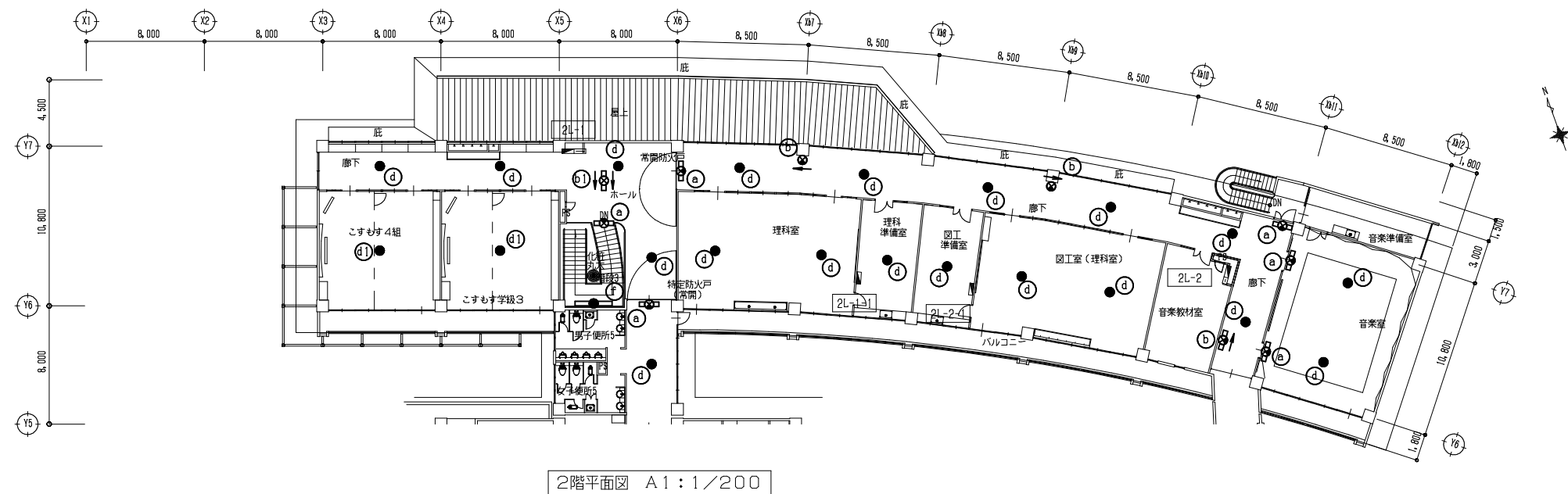
塩込形分電盤、端子盤等の型枠

補

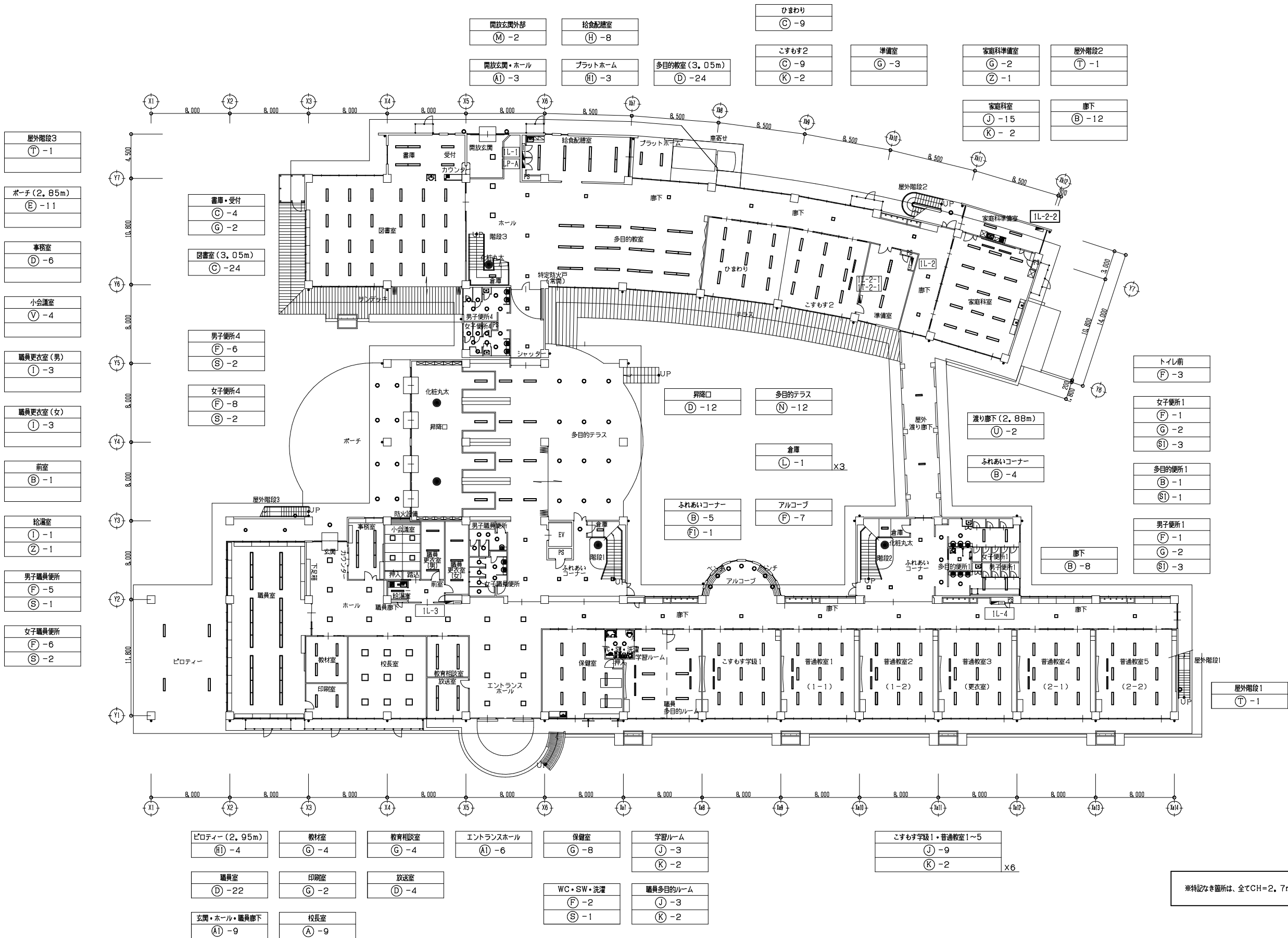


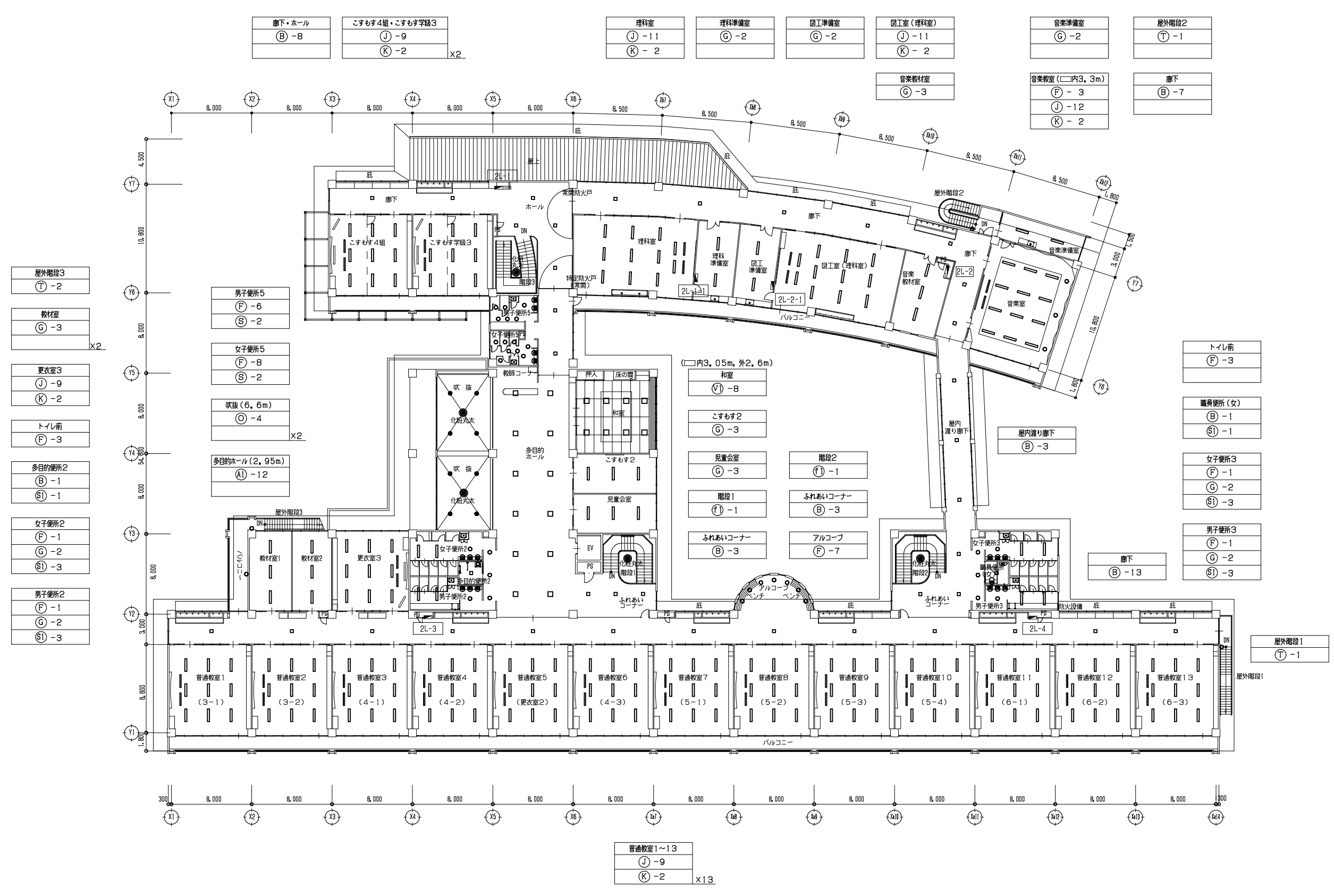







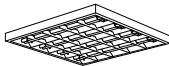



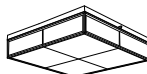

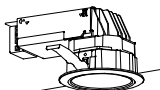

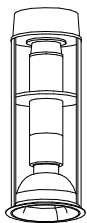
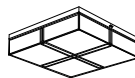
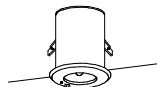
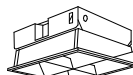





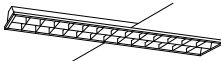

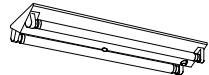
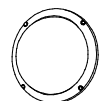

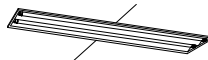



	<b>ff (有) 藤山設備設計</b> 熊本市南区近見6丁目4番1号201	一級建築士事務所 第3443号 熊本県知事登録 第339114号 一級建築士 設備設計一級建築士 第4340号 藤山 豊	日付 令和7年 月 日	工事名称 大津町立美咲野小学校照明設備改修工事	図面名称 非常用照明・誘導灯設備 改修平面図	縮尺 A1=1/200 A3=1/400	図面番号 E-5
		検印 担当 作図					









a	LED 避難口誘導灯 片面型 B級・BH形 SH1-FSF22-BH	A	FHP 45W-4 SM9	E	FHT24WX1 軒下ダウンライト	I	FHF 32WX1 PH9	N	FHT42WX1 シーリングライト	V	FHD85WX1 シーリングライト (電球色)		
 壁・天井直付 吊下取用型 電池内蔵型・ニッケル水素蓄電池 内蔵パネル形・自己点検機能付 白色LED		 ボルトフリー (100～242V) エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体：銅板 (高反射白色粉体塗装) 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ルーバ：亜鉛鋼板 (ホワイト)		 集積型LEDクワンコア (ひと粒) タイプ 5000K、Ra70、拡散タイプ 器具光束1066lm、消費電力12.5W、電圧100～242V 反射板：アルミダイカスト (高反射ホワイト仕上) 特：アルミダイカスト (高反射ホワイト仕上) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 埋込穴φ100 埋込高91、天井面取付専用		 スクールコンフォート		 防雨型 ボルトフリー (100～242V)・Wフリータイプ 低誘虫仕様 特：アルミ (クールホワイトつや消し仕上) セード：アルミ (クールホワイトつや消し仕上) パネル：アクリル (つや消し仕上・低誘虫仕様) 水平天井専用		 アクリル強化和紙張り 木製 (白木)			
b	LED 通路誘導灯 片面型 B級・BH形	A1	FHP 32W-3 SM9	F	LED	J	FHF 32WX2 PH9	O	MT150WX1 ダウンライト	V1	FHD100W+40W シーリングライト (電球色)		
b1	LED 通路誘導灯 両面型 B級・BH形	 ボルトフリー (100～242V) ランプフリー (FHP32/FPL36) エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ルーバ：アルミ (ホワイト) 遮光角 横方向15度/縦方向15度 埋込穴φ450 埋込高H=122		 集積型LEDクワンコア (ひと粒) タイプ 5000K、Ra70、拡散タイプ 器具光束1066lm、消費電力12.5W、電圧100～242V 反射板：アルミダイカスト (高反射ホワイト仕上) 特：アルミダイカスト (高反射ホワイト仕上) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 埋込穴φ100 埋込高91、天井面取付専用		 直付黒板灯 (照射角度切換可能型)		 昇降可能高：15m 特： (クールホワイトつや消し仕上) 反射板：アルミ (銀色仕上) 安定器内蔵・オートリフター付タイプ 埋込穴φ250 埋込高H=700 クリアカット15°		 アクリル強化和紙張り 木製 (白木)			
d	JE3, 6V13WX1 非常灯	B	FHP 23W-2 PN9	F1	LEDシーリングライト	K	FHF 32WX1 PH9	S	EFD15Wx1 (電球色)	W	FHF 32WX1 PH9 防湿型		
d1	JE4, 8V30WX1 非常灯	 電池内蔵型 (建築基準法認定品)  ニッケル水素蓄電池使用 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 特：銅板 (オフホワイトつや消し仕上) 反射板：アルミ (高効率シルバーブライト) 埋込穴φ100 埋込高H=153		 ボルトフリー (100～242V) エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体：亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) ルーバ：銅板 (ホワイト) 遮光角 横方向20度/縦方向15度 埋込穴φ275 埋込高H=112		 拡散タイプ 調光可能型 白色 光束維持率70%指定40000時間 本体：アルミダイカスト 特：アルミダイカスト (クールホワイトつや消し仕上) ビーム角80度タイプ		 直付黒板灯 (照射角度切換可能型)		 防湿型 便所ブラケット		 便所ブラケット	
f	FHF32WX1 階段通路誘導灯	C	FHF 32WX2 PH9	G	FHF 32WX2 PH9	L	FHF 16WX2 PH9	T	EFD15Wx1 (電球色)	S1	EFD15Wx1 (電球色)		
f1	FHF32WX1 階段通路誘導灯 バッテリー無し	 電池内蔵型 (消防法・建築基準法兼用認定品)  非常時FHF32形1100lm点灯 ボルトフリー (100～242V) ランプフリー (FHF32/FLR40/FL40) 長時間点灯型 特：アルミ (クールホワイト) パネル：ガラス (2面)		 W=220		 熱線センサ・明るさセンサ付		 屋外階段		 防雨型 電球色 電球色UVカット仕様 カバー：高級撥クリーンアクリル (乳白) アルミダイカスト (ホワイト) 壁面・天井面取付専用		 便所ブラケット	
		D	FHF 32WX2 PH9	H	FHF 32WX2 PH9 富士型 防湿	M	EFD15WX1 E (電球色)	U	FHF 16Wx1 PH9	Z	HF 16Wx1		
 Cチャンネル回潮型 ボルトフリー (100～242V) PFG・PUG：初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体：銅板 (高反射白色粉体塗装) 反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) 埋込穴220×1235 埋込高H=26		 熱線センサ・明るさセンサ付		 防湿・防雨型 ボルトフリー (100～242V) エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体：亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射板：亜鉛鋼板 (クロムレス・高反射白色粉体塗装)		 吊戸照明							

 <b>(有) 藤山設備設計</b> 熊本市南区近見6丁目4番1号201		一級建築士事務所 熊本県知事登録 第34443号 一級建築士 第3391114号 設備設計一級建築士 第4340号 藤山 貴	日付 令和7年 月 日	工事名称 大津町立美咲野小学校照明設備改修工事	図面名称 照明器具 撤去姿図	縮尺	図面番号 E-9
--	--	---	----------------	----------------------------	-------------------	----	-------------

